



ADRC Highlights

Vol.102

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

October 1, 2004

➤ タジキスタン国で防災ワークショップを実施

2004年8月2～6日、アジア防災センター(ADRC)ではメンバー国との共同プロジェクトとして「タジキスタン国防災ワークショップ」を同国非常事態及び市民防衛省(MoES)、国連タジキスタン災害危機管理計画事務局とともに同国首都のドゥシャンベにて開催しました。

本ワークショップは国連開発計画危機予防復興支援局(UNDP/BCPR)、国連国際防災戦略(UN/ISDR)、スイス国開発協力庁からも支援を得て、ロシア語-英語の同時通訳で行われました。参加者は、タジキスタン国政府の防災行政担当者約30名のほか、同国内にある大学・研究機関、国際NGO、国連機関などから10名、合計40名を数えました。講師は、タジキスタン国防災関係者、国連機関、国際NGO、スイス政府の防災協力事業担当者、他、日本からは武蔵工業大学工学部建築学科の濱本卓司教授(地震工学)、ADRC主任研究員の角崎と羽鳥が担当しました。

プログラム内容は、専門家による講義とグループディスカッションの2種類を基本とし、参加者相互の意見交換に重点をおきました。

濱本教授には、地震による建物倒壊のメカニズムや耐震性能向上の手法についての講義の他、地震防災とタジキスタンの将来についての特別セッションでの基調講演と進行役を務めていただきました。ADRCの角崎は「総合的な防災政策(TDRM)」についての解説と阪神・淡路大震災での教訓を、羽鳥はGISを用いた情報管理とその応用としてのハザードマップ作成方法と活用例についての講義を担当しました。また、このような講義の他、本年7月中旬のヴァルゾフ川沿いで発生した洪水・土砂災害の被災地および1989年の地震と地すべりで270名余が犠牲になったシャローラ村も視察しました。自らの目で見た被災現場や地形、生活環境を踏まえての討議は、とりわけ国外からの参加者にとってタジキスタンに対する理解を深めるうえで役立つものとなりました。

今回のワークショップは、タジキスタンの防災に関して、多数の国内・国際機関が一堂に会して直接議論を交わした初めての機会であり、通常のセミナーやアンケート調査では判明しにくいさまざまな問題点が浮き彫りとなったことに特徴がありました。とりわけ、同国の関係省庁や研究



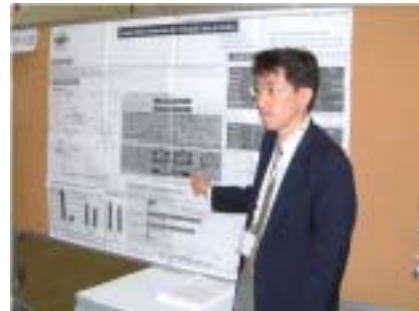
機関が所有する様々な災害関連データについては、組織間での連携の重要性が強調されました。今回のワークショップが、タジキスタンの防災能力向上の契機となることが期待されます。

なお、この件に関するお問合せや質問は、角崎(tsunozaki@adrc.or.jp)または羽鳥(hatori@adrc.or.jp)までお願いします。

➤ 第13回世界地震工学会議:バンクーバーで開催、アジア防災センターが参加・論文発表

2004年8月1～6日までカナダのバンクーバーにおいて、第13回世界地震工学会議が開催されました。同会議は4年毎に開催される地震工学分野における世界最大の国際会議で、数千編におよぶ各種研究論文が発表されました。各セッションでは、最新の研究成果に対して活発な議論が行われました。

アジア防災センター(ADRC)からは主任研究員の栗田が同会議に参加、「社会・経済的問題」のセッションにおいて「トルコ主要都市の地震リスク評価」という題名で論文発表を行いました。同著者らは、トルコの主要3都市(アンカラ、イスタンブール、イズミール)における地震リスクを評価しました。本研究の結論は、イスタンブールに大地震が発生した場合、甚大な被害が予想され、それはトルコの経済・財政に深刻な影響を及ぼすことと、建物への耐震補強策が人的被害と経済的損失を軽減させるのに有効であることです。加えて、安価な耐震補強法開発の必要性も強調しました。



なお、この件については、栗田(kurita@adrc.or.jp)までお願いします。

➤ 国際防災ポスターコンクール作品募集のお知らせ

2005年1月18～22日に兵庫県神戸市で開催される国連防災世界会議を記念して、国連では現在、16歳以下の児童・生徒を対象とした国際防災ポスターコンクールを行っています。

応募締め切りは2004年10月20日です。詳しくは、アジア防災センターのホームページ(<http://www.adrc.or.jp/top.jphp>)をご覧ください。

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行: Asian Disaster Reduction Center(アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館5F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)5540 FAX: 078(230)5546

誌代・送料: 無料 / 毎月2回発行(予定)